

午前 10 時 00 分

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 欠席委員連絡（小野沢委員）

午前 10 時 00 分開議

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 調査事件

- (1) 函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備に関わる総務常任委員会所管施設について

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、本日付けで経済部より函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備の方向性について（中間報告）の資料が配付されている。本資料については、直接的には経済建設常任委員会の所管だが、資料の中に統廃合を検討する施設等として当委員会所管の千歳図書室が掲載されていることから、本日委員会を開催させていただいた。
- ・ 資料について理事者から説明をお願いする。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 資料説明：函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備の方向性について（中間報告）（令和 3 年 9 月 10 日付 経済部調製）
- ・ 総務常任委員会からのご意見も踏まえた上で、今後最終的な方向性の取りまとめに向け検討していきたい。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 資料の説明は以上だが、今回配付された資料は中間報告である。今後、新しい施設のコンセプトや機能を最終的に取りまとめていく中で、所管施設の統廃合についてもあわせて検討されていくことになると思うので、将来的な事柄については、現状では具体的な答弁が非常に難しいものと思うので、各委員にはこうした状況も踏まえて発言いただきたい。また、今後検討を進めていくという状況なので、所管施設の関係で意見・要望等あれば、検討の参考になるかと思うので発言いただきたい。各委員から、何か発言あるか。

○小山 直子委員

- ・ 千歳図書室はよく利用しているが、今日の報告によると千歳図書室は統廃合ということで、再開発事業の建物の中に全部が移転するという事でよろしいか。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 今回は基本的な考え方を示している段階である。今後、具体的にどのような機能を持たせるかは、12 月の成案化に向けて詰めていく段階であるので、今回、確定的なことは述べられない。

○小山 直子委員

- ・ 前、駅前に図書館が必要だということを一般質問でしたことがある。駅前に人が集まるし、電車を待つビジネスマンや学生が待ち時間を有効に使えるので、必要ではないかと質問をしたことがあるのでこの建物の中に機能が入ることについてはよいと思う。
- ・ ただ、考え方のところが図書コーナーという言い方なので、千歳図書室の一部が移るのかと。できたら千歳図書室は利用者が多いので、ぜひ千歳図書室は図書室として残して、こちらの図書コーナーの充実を考えてほしい。

○福島 恭二委員

- ・ 総体的に考えて、駅前の中心市街地活性化事業の中で、またこの建物が完成する過程の中で、一定程度展望が開けたら、それを見極めながら中心市街地活性化事業の終結と同時に完成させるというイメージで現在に至って、そしてグリーンプラザなんかをどうするとかまだ決定していない中、この施設が入ることによって、どの程度の利用者があると考えられているのか、中心市街地活性化事業との関連性のわかる資料も出してほしい。
- ・ 蛇足だが、駅前の再開発はキラリスやハコビバなど賑わいの場を設けたが、コロナ禍で仕方ないという面もあるが、向こうに行きづらいとか導線がしっかりしていないということがある。はたして、建て替えによってこういう施設が入ることによって、本当に期待するようなにぎわいが取り戻せるのか不安であるので、十分議論していかなければならないと思う。
- ・ 今回、総務常任委員会の所管施設が1つしかない中、このように委員会を開いたことは評価したい。是非、我々も含め、全体がわかるような議論の場を設けていただきたいと期待する。

○遠山 俊一委員

- ・ 千歳図書室の蔵書数と図書の傾向についてお聞きしたい。

○教育委員会生涯学習部生涯学習文化課長（神 和幸）

- ・ 令和元年度末現在で 39,819 冊である。内訳は一般図書が 28,236 冊、児童図書が 11,332 冊、雑誌一般に類するものが 251 冊である。

○遠山 俊一委員

- ・ 今示された資料の中に函館市に関する図書やビジネス書を充実させるとあるが、これらも含めてどれくらいの蔵書を予定しているのかお聞きしたい。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 実際に2フロア使うということで面積が約 2,600 平米になるが、いろいろな機能をこれからどうするということを議論していくので、機能にどれだけの面積を割り当てるとかはまだ全然決まっていない段階なので、どのくらいの本を置けるかも当然まだ算定できる状況にない。12月までにはそこ辺りはある程度お示しできると思う。

○遠山 俊一委員

- ・ 今の段階で理解するが、やっぱり蔵書と何をそろえるかによって、そこにどれだけの集客を見込めるか決まってくると思う。面積よりもそっちの方が重要だと思う。
- ・ それともう1点、これは多分答えることはできないと思うが、今ここにホテルやマンション、商業

棟、交流広場に人が集まる、そうしたときに、図書館を利用するために訪れた方の駐車するスペース、先日の亀田交流プラザの駐車スペースが少ないという話があったが、これだけ人が集まったときに十分な駐車スペースが確保できるのか——その辺は答えられないだろう。十分な駐車スペースを確保していただくことを希望して終わる。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 何か生涯学習部で話せることはあるか。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 経済部から聞いている範囲では、株式会社中合が棒二森屋の立体駐車場を所有しているが、引き続き駐車場として使用することを検討していると、準備組合の方から聞いているということを経済部から聞いている。ただ確定ではない。

○池亀 睦子委員

- ・ 千歳図書室の利用状況を確認したい。

○教育委員会生涯学習部生涯学習文化課長（神 和幸）

- ・ 令和元年度当初で言えば、貸出し人数は 21,664 人、貸出し冊数は 84,022 冊である。

○池亀 睦子委員

- ・ これは本だけであるが、そこで学習したりとか、そういう利用者数についてはどうか。今、新型コロナウイルス感染症で昨年、今年に関しては正確とは言えないと思うが。

○教育委員会生涯学習部生涯学習文化課長（神 和幸）

- ・ 利用者数についてはカウントしていない。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 今、4 人の委員から質問があつてなんとなく分かってきた。
- ・ 千歳図書室の利用者数は多いと思っているが、今の説明では市民の誰もが学べる場、充実した図書コーナーの設置ということで、私のイメージとしては亀田交流プラザみたいな図書コーナーだけを設けるというふうに思う。図書館の機能を持ったというのはどこにも書いていないが、そこら辺はどうか。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 今、市戸委員から話があつたように、イメージとしては亀田交流プラザ、あと G スクエアに図書コーナーができるというようなイメージだと思ってもらえればいいと思うが、閉鎖的な図書室と言うよりもオープン的な、いろんな若者から高齢者までが集える——亀田交流プラザや G スクエア、あと中央図書館もそうだが、学生がよく勉強しているスペース——そのようなスペースを確保するような、そんなイメージを考えている。ただ詳細についてはこれから詰めていく段階なので、確定的なことは現在言えないということでご理解いただきたい。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 亀田交流プラザや G スクエアのイメージということだが、美原図書室の機能なくすときに説明を受けたのは、中央図書館があるでしょうと、中央図書館近いからそちらを利用していただきたいというふうな説明を何回もされた。でもやはり美原図書室を利用する人たちはすごく多くて、そこで中央図

書館の本を貸出す、要するにネットワークの連携プレーで借りられることができたわけだが、今、実際に亀田交流プラザはそれができないということで、それを今度の駅前東地区の事業の公共施設のフロアでやるとなると、もう西部地域周辺に図書館はない。そういった意味では、図書コーナーだけでいいのかという疑問は私にはある。だから、私も駅前には図書館が必要だと思っている、青森県にも小山委員と一緒に見てきたこともあるし、本当に必要なと思う。札幌市もえほん図書館——非常に親子連れで利用してて、オープンスペースで行っていて、あそこは図書館だから、司書もちゃんといて、いろんなことを聞いたりできる。そういうことを私は望んでいるが、図書室コーナーでいいのかという疑問は本当に残る。一応意見として言うておく。

- ・ 今、総務常任委員会で委員からの意見を聞いてもらっているが、市民からの声をどのようにして聞いて 12 月までに成案を出すのか、計画していることがあったら教えてほしい。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 先ほど説明したように、方向性を 12 月までには成案化した上で、2 ページの 5 番の今後のスケジュールにも記載しているが、その後に公共施設の整備の基本計画の策定というのがある。この整備計画の策定にあたって、専門家からの意見聴取や広く市民の方からも意見をもらえるようにパブリックコメントをやることも想定している。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 12 月には公共施設整備の方向性を公表するということなので、今のこの図書コーナーにするのかそれとも図書館機能を残すのかっていうあたりもこの方向性のときには示すというふうに私は思っている。であるならば、その前に本来ならば、市民からの意見も聞いてほしいと思って——私達も市民の代表だが——利用している方たちもたくさんいるので 12 月までの間というふうにはならないか。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 今回のこの再開発の公共施設の関係については、経済部が中心となっていていろいろと庁内で議論しているが、教育委員会のほかに市民部、保健福祉部、こども未来部の 5 つの部局が関わる案件なので、今後、庁内でいろいろと議論しながら、我々も図書館機能の部分で先に考え方を示すということが可能であれば示していきたいとの考えも持っているの、そこら辺を庁内で調整した上で、また相談させてもらいたいと考えている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 意見として言うておくが、もし図書コーナーとしてここに入れるのであれば、千歳図書室はなくなる方向でしてほしいということを言い述べて終わる。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ ほかに発言あるか（なし）
- ・ 理事者においては、本日の各委員の発言を踏まえて今後の検討を進めてほしい。
- ・ 理事者は退室願う。

（教育委員会 退室）

- ・ 議題終結宣言

2 その他

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 次に、2 のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前 10 時 23 分散会